

【地域振興を図るための住民合意形成を促す手法】 4月25日（木）開催結果

第148回 農山漁村コミュニティ・ビジネス・オンライン・セミナー【地域振興を図るための住民合意形成を促す手法】は全国から多くの方々から参加申込をいただき4月25日（木）開催しました。

第148回 農山漁村コミュニティ・ビジネス・オンライン・セミナー

地域振興を図るための 住民合意形成を促す手法

4月25日（木） 16時～17時

1. 地域再生は誰が行うのでしょうか。
2. なぜ、合意形成が必要なのでしょうか。
3. 合意形成とは、どうやっておこなうのでしょうか。
4. 合意形成には、住民からのアイデア創出する作業そのものが、やる気起こす効果を発揮します。
5. では、どうアイデアを創出し、まとめるのでしょうか。
6. KJ法の手法を取り入れて参加者をワクワクさせるやり方です。
7. この具体的なプロセスが、目指す「住民自身が立ち上がる機運」を興します。



（一財）都市農山漁村交流活性化機構 茅原 裕昭

第148回農山漁村コミュニティ・ビジネス・オンライン・セミナー
2024年のセミナーはオンラインのみ、参加無料

セミナーの内容は、

I これから益々重要となる農山漁村コミュニティ・ビジネス

農山漁村コミュニティ・ビジネスとは

農山漁村コミュニティ・ビジネスのロードマップ

地域運営組織とは 他

II 住民合意による地域再生の手法

1. 合意形成について
2. 「計画案を提示して住民の意見を聞く」のではなく、
「アイデアそのものから住民を巻き込む」手法へ
3. 地域再生寄り合いワークショップについて
 - (1) 見える化する（第1回目）
 - (2) 意見をまとめる（第2回目）
 - (3) 深く、考える（第3回目）

そのほか

寄り合いワークショップにおける質的統合法（KJ法）

1. 【思考法・発想法を鍛えるオンラインワークショップ】

2. 【質的統合法（KJ法）の講座】

3. 【地域再生寄り合いワークショップの手法】

農山漁村コミュニティ・ビジネス・オンライン・セミナーや第20回オーライ！ニッポン大賞の今後の予定

これから益々重要となる 農山漁村コミュニティ・ビジネス

- 地域が持続可能であるためには、（自由に使える永続的な資金の確保が鍵）
そのためには、収益源として地域資源の活用が最も有効
- （これまでの地域活性化手法から）これからの地域活性化手法（へ）
農林水産業の6次産業化もコミュニティ・ビジネスの一環
- 今話題の農村型地域運営組織（農村RMO）においても
地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスは求められている
- 地域にお金を循環させるうえでも農山漁村コミュニティ・ビジネスは重要
- オーライ！ニッポン大賞は、農山漁村コミュニティ・ビジネスの優れた事例宝庫



③農産物直売所 2024年4月19日現在 2082件 掲載中



優れた事例の表彰、情報発信「オーライ!ニッポン大賞」

都市と農山漁村の共生・対流を普及する方策として、優れた取組を表彰する「オーライ!ニッポン大賞」は、「都市側から人を送り出す活動」「都市と農山漁村を結びつける活動」「農山漁村の魅力を活かした受入側の活動」について優れた貢献のあった団体、若しくは個人を表彰しています。

第19回オーライ!ニッポン大賞グランプリ（内閣総理大臣賞）は、長野県泰阜村の特定非営利活動法人グリーンウッド自然体験教育センターです。

オーライ!ニッポン大賞は、都市と農山漁村の交流の取組すべてが対象です。例えば、グリーン・ツーリズム、企業・大学等の社会貢献、コミュニティ活動、2地域居住や定住の促進、起業と雇用（農林漁家民宿・レストラン等）、環境保全（棚田や里山・里海など）、教育（体験型教育旅行、キャリア教育、環境教育等）、農商工連携、伝統文化や食文化の発掘・保全・活用、農業と医療福祉との連携、関係人口を創出する取組、テレワーク、サテライトオフィス、ワーケーション、SDGs等。

ライフスタイル賞は、例えば、交流イベントや古民家活用等を通じて移住者や交流人口の増加に貢献している人。農山漁村の地域資源を活かして起業（民宿、レストラン、体験ビジネスなど）している人半農半X等。

受賞パンフレット



—都市と農山漁村の共生・対流表彰事業—

第19回 オーライ!ニッポン大賞



主催：オーライ!ニッポン会議（都市と農山漁村の共生・対流推進会議）
 協賛：一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
 後援：経産省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、一般社団法人日本経済団体連合会、全国知事会、全国市長会、全国町村会

「オーライ!ニッポン」とは、都市と農山漁村の間の「人・もの・情報」の往来（あうらい）を盛んにすることで、日本全国が元氣（All right）になることをめざす国民運動「都市と農山漁村の共生・対流」のキャンペーン名です。

第19回 オーライ!ニッポン大賞の決定 2023年5月19日



【オーライ!ニッポン大賞グランプリ】内閣総理大臣賞

① 特定非営利活動法人グリーンウッド自然体験教育センター (長野県 泰阜村)

【オーライ!ニッポン大賞】

② 下川町産業活性化支援機構 (タウンプロモーション推進部) (北海道 下川町)

③ 特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク (岩手県 遠野市)

④ 一般社団法人東彼杵ひとこともの公社 (長崎県 東彼杵町)

【オーライ!ニッポン大賞 審査委員長賞】

⑤ 特定非営利活動法人 明日香の未来を創る会 (奈良県 明日香村)

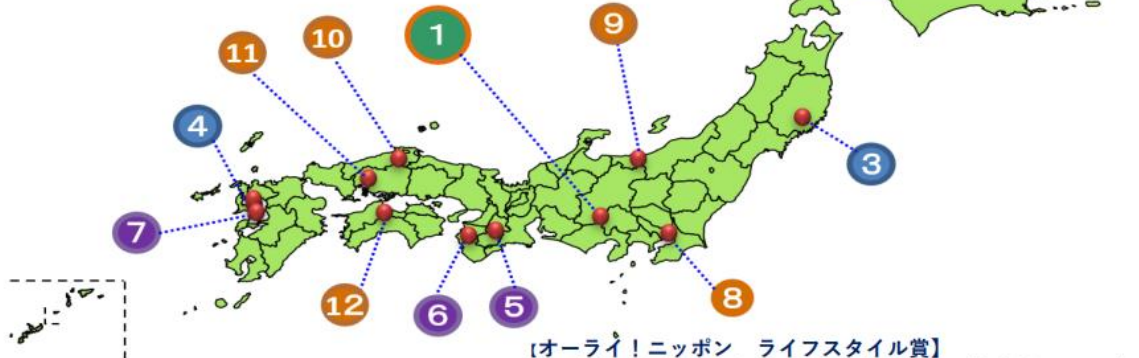
⑥ 有田川町×龍谷大学 (和歌山県 有田川町)

⑦ 農事組合法人ながさき南部生産組合 (長崎県 南島原市)

表彰式は、7月13日
品川フロントビル会議室開催

受賞団体の概要は、下記のサイトから

<https://www.kouryu.or.jp/information/19thohraiwawards.html>



【オーライ!ニッポン ライフスタイル賞】

⑧ 瀬崎 真広 (セザキ マサヒロ) さん (東京都江戸川区)

⑨ 牛田 光則 (ウシダ ミツノリ) さん (新潟県 上越市)

⑩ 三瓶 裕美 (サンベ ヒロミ) さん (島根県 雲南市)

⑪ 國田 将平 (クニタ ショウヘイ) さん (広島県 広島市)

⑫ 山中 裕加 (ヤマナカ ユカ) さん (愛媛県 西条市)

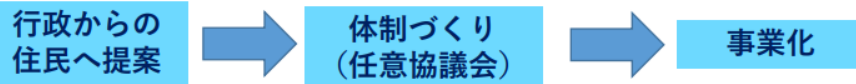
14

II 住民合意による地域再生の手法

- 住民が地域再生を図り、農山漁村コミュニティ・ビジネスに取り組むためには、**地域住民自身が地域の再生を考え、自ら取り組もうとする意欲が醸成される必要があります。**
- そのためには、それぞれの考えを披露・共有し、**地域での意見交換を通じながら合意形成を図る機会が必要**であり、このきっかけづくりとして、「**地域再生寄合ワークショップ**」の実施方法を紹介します。



古き良き時代（昭和時代の成功パターン）の取り組み方

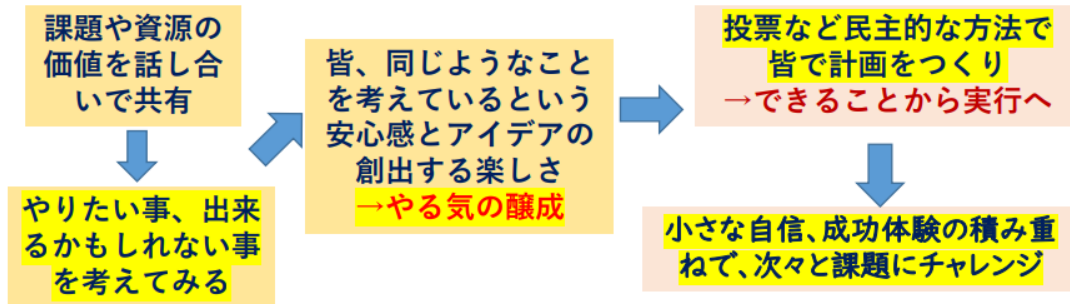


行政がリードしてくれるから安心してついていった（他人依存）



地方創生時代の取り組み方

地域を良くしたい、自分たちが立ち上がらないと解決しない



地域再生 寄合ワークショップをやってみませんか？

住民が主役の地域づくりに向けて

	ワークショップの内容	宿題と結果
第1回	地域課題と可能性の抽出	地域資源写真
第2回	地域資源の写真分析地図化	再生アイデア
第3回	地域再生のためのアイデア	実行計画案

- ☀️ 地域の未来をどうにかしたい
- ☀️ 住民自身が地域活性化を図るため
- ☀️ 問題の糸口を探り、課題を共有する
- ☀️ 住民の創造的なアイデアを引き出し
- ☀️ 地域再生への情熱を仲間と共有し共感を得てやる気の醸成を図る

具体的な進め方のご相談は
 (一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)
 コミュニティビジネスチーム TEL 03-4335-1985へ

第1回ワークショップ

講師らで作成した【外の目から見た当該地区の資源地図】



Ⅲ 寄り合いワークショップにおける質的統合法 (KJ法)

山浦晴男氏 (千葉大学大学院看護学研究院 特命教授) から直接指導いただく、質的統合法 (KJ法) の基礎講座

金沢大学 林透 教授 (教学マネジメントセンター副センター長、文部科学省・知識集約型社会を支える人材育成事業プログラム運営委員会委員、教育関係質的統合法 (KJ法) 研究会代表) は、**自分の思っていることや感じていることを言語化し、構造的に思考することや発想することが大事**であり、私たちは、思考法や発想法の「型」を知らず、学んだことがないことから、**言語化された質的データを統合しながら思考し、発想するための基礎スキル**である「質的統合法 (KJ法)」を学ぶ必要があるのではないかという問題意識から「質的統合法 (KJ法) 基礎講座」を開催



1. 【思考法・発想法を鍛えるオンラインワークショップ】
2. 【質的統合法 (KJ法) の講座】
3. 【地域再生寄り合いワークショップの手法】の特徴をまとめてみます。

本資料は講師の活動及び本セミナーを PR するため講演資料の一部 (代表的な部分 10 ページ) を抜き出しましてまとめています。セミナーでは、より詳細、より広範囲に具体的内容を説明しています。セミナー終了後**参加者限定**で資料 (85 ページ) を配信しています。